

表Ⅳ-4-9. 推定される感染源・感染経路等別、罹患数(2)

疾病名	推定される感染源・感染経路等						全体 人
	媒介動物等		その他		不明		
	人	%	人	%	人	%	
エキノкокクス症	20	17.7	2	1.8	33	29.2	113
オウム病	200	88.9	4	1.8	22	9.8	225
Q熱	63	46.0	5	3.6	67	48.9	137
クリプトスポリジウム症	3	1.3	14	6.0	94	40.0	235
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0.0	77	21.9	274	78.1	351
ジアルジア症	8	1.3	40	6.3	241	38.2	631
髄膜炎菌性髄膜炎	0	0.0	11	13.6	70	86.4	81
デング熱	266	96.7	5	1.8	5	1.8	275
日本紅斑熱	259	88.1	8	2.7	28	9.5	294
破傷風	0	0.0	420	74.2	146	25.8	566
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0.0	60	19.6	246	80.4	306
マラリア	537	94.9	4	0.7	25	4.4	566
ライム病	58	96.7	1	1.7	1	1.7	60
レジオネラ症	0	0.0	521	52.4	474	47.6	995

表Ⅳ-4-10. 同疾患又は同様の症状の者の発症別、罹患数

疾病名	同疾患又は同様の症状の者の発症								全体 人
	同居者		同じ職場や学校等		その他		いない		
	人	%	人	%	人	%	人	%	
エキノкокクス症	0	0.0	0	0.0	7	6.2	106	93.8	113
オウム病	52	23.1	12	5.3	15	6.7	146	64.9	225
Q熱	10	7.3	2	1.5	6	4.4	119	86.9	137
クリプトスポリジウム症	12	5.1	81	34.5	21	8.9	121	51.5	235
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0.0	1	0.3	14	4.0	336	95.7	351
ジアルジア症	31	4.9	11	1.7	78	12.4	511	81.0	631
髄膜炎菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	2	2.5	79	97.5	81
デング熱	16	5.8	4	1.5	26	9.5	229	83.3	275
日本紅斑熱	17	5.8	0	0.0	24	8.2	253	86.1	294
破傷風	1	0.2	0	0.0	5	0.9	560	98.9	566
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	0.7	3	1.0	41	13.4	260	85.0	306
マラリア	13	2.3	13	2.3	46	8.1	494	87.3	566
ライム病	0	0.0	1	1.7	4	6.7	55	91.7	60
レジオネラ症	10	1.0	1	0.1	138	13.9	846	85.0	995

IV-5. 小括

感染症発生動向調査の情報の有効活用における主なねらいは、感染症の流行状況を、より早期に、より正確に、より詳細に把握することである。罹患が極めて稀な疾患においては、罹患報告が1件あることが流行の可能性を示しており、また、その報告内容を逐一みればよい。情報の有効活用方法について議論の余地は小さいと考えられる。

一方、罹患がある程度の疾患においては、情報の有効活用によって、罹患の時間的・地域的な集積を観察・評価して、流行の可能性を把握・検討することが重要である。4・5類感染症の14疾患における2000～2005年の罹患数の検討結果から、全国の週別の罹患数をみることによって罹患の時間的分布が、都道府県別の罹患数をみることによって罹患の地域的分布がある程度把握できると考える。したがって、これらの観察方法は、ある程度、情報の有効活用にむすびつくものと考えられる。

これらの観察方法において、罹患数の多少を評価する上で、比較の基準が必要である。全国の週別罹患数の観察では流行がない場合に99%の週が超えない罹患数を、都道府県別の罹患数の観察では流行がない場合の罹患率を基準値とする比を用いたが、これらが比較の基準のめやすになったと考えられる。これらを算定するために、罹患の時間的・地域的な集積のない場合（流行のない場合）の罹患率の推定値を与えた。その推定方法としては、流行のない場合の都道府県・週の罹患数分布にポアソン分布を仮定し、2000～2005年における罹患数が2以上の都道府県・週およびそれを含む当該都道府県の当該年次（流行の可能性あり）を除いた罹患数分布を基礎とした。これは1つのやり方と考えられるが、これ以外にも様々な推定方法が考え得ることから、今後、よりよい推定方法を検討することが重要であろう。

都道府県・週単位の罹患状況プロットは、罹患の時間的・地域的な集積状況をみる上で、有用な視覚的方法と考えられた。とくに、罹患の時間的分布あるいは地域的分布の観察結果と一緒にみること、流行の時間的・地域的な状況をより詳しく把握できる。ここで検討対象とした年間罹患数が200未満の疾患においては、保健所ごとにみるとほとんど報告がないことから、観察の地域単位は都道府県が適切であって、また、単純な都道府県・週単位の罹患状況プロットが有用であると考えられる。

罹患の感染特性別分布の観察により、疾患ごとに、性別、年齢、「推定される感染地域」、「推定される感染源・感染経路」などに大きな特徴が見られた。この観察は、情報の有効活用では、流行状況の詳細をみるものと位置づけられる。今後、流行による感染特性分布の違いなどを観察して、具体的な活用方法を検討することが重要であろう。

以上、4・5類感染症の全数把握対象疾患について、感染症発生動向調査の報告データに基づく情報の有効活用として、罹患の時間的分布、地域的分布と感染特性分布の観察方法を提案し、これらの観察方法にある程度の有用性があると考えられた。

V. 情報の有効活用に関する検討－基幹定点対象疾患－

これまで基幹定点対象疾患の情報の有効活用について検討がなされていなかったため、本研究グループでは平成16年度から（基幹定点数や報告状況の現状把握を中心に）基礎的検討を開始した。

基幹定点の選定は、都道府県が関係医師会等の協力を得て医療機関の中から可能な限り無作為に選定することとされており、選定基準は「対象患者がほとんど入院患者であるため、患者を300人以上収容する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）を各二次医療圏域毎に1か所以上、基幹定点として指定すること」とされている。二次医療圏とは医療法で規定される特殊な医療を除く一般的な医療サービスを提供する医療圏で、複数の市町村を一つの単位として認定される。基幹定点の選定基準は、保健所管轄人口によって定点数が指定されているインフルエンザ定点や小児科定点とは趣が異なっている。

今年度は新たに入手した2005年感染症発生動向調査データを加え、2001～2005年の5年間のデータを利用し検討した。基幹定点対象疾患の情報の有効活用を検討していくためには、現状の把握が必要であり基礎資料となる。対象疾患は五類感染症の8疾患であり、週別把握疾患（月曜日から日曜日までを調査単位とするもの）である細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎（オウム病を除く）、成人麻疹の5疾患と、月別把握疾患（月の1日から末日までを調査単位とするもの）であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症（以下MRSA感染症）、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症（以下PRSP感染症）、薬剤耐性緑膿菌感染症の薬剤耐性菌感染症3疾患である。具体的には、基幹定点数の検討、基幹定点からの患者情報の（全国・地方別）時間的分布の検討、性・地域分布（都道府県分布）の検討、年齢分布の検討、週別把握疾患の検査方法・検査結果の検討、月別把握疾患の採取部位の検討を行った。最後に、今回集計して得た基幹定点からの患者情報の現状を踏まえ、基幹定点対象疾患の情報の有効活用についてのまとめを加えた。

V-1. 基幹定点数の検討

各都道府県が基幹定点として選定している医療機関名は、毎年都道府県から国立感染症研究所に送られて国として把握されている（これを本章では登録基幹定点と呼ぶ）。しかし各都道府県で基幹定点の数や医療機関の変更が行われることがあり、登録基幹定点は多少は実情とは異なっていることが予想される。そこで、各定点医療機関から保健所に患者情報が毎週（月別把握疾患なら毎月）報告されるので、報告のあった定点数を算出し求めた（これを本章では週別または月別報告平均基幹定点数と呼ぶ）。ただし定点医療機関から保健所へ報告がなされないこと（報告漏れ）もあるので、報告のあった定点数は実際に存在する定点数よりは少ないと予想される。

基幹定点は何か所存在するのか、都道府県別にどのように分布しているのか、基幹定点数の年次推移はどのようなものであるのかを明らかにすることを目的に以下の方法で検討した。

1) 検討方法

検討資料は2001～2005年の5年間における感染症発生動向調査データである。以下の方法で、①登録基幹定点数、②週別報告平均基幹定点数、③月別報告平均基幹定点数、をそれぞれ都道府県別に

求め検討した。

- ①登録基幹定点数：年報データの都道府県別定点医療機関名から、基幹定点数を算出。
- ②週別報告平均基幹定点数：保健所別データの週別基幹定点数(週別に報告のあった基幹定点数)を、各年第1週～第52週(2004年は53週)まで足し算して、その総計を52週(2004年は53週)で割って算出。
- ③月別報告平均基幹定点数：保健所別データの月別基幹定点数(月別に報告のあった基幹定点数)を、各年1月～12月まで足し算して、その総数を12月で割って算出。

また都道府県別二次医療圏あたり基幹定点数(登録基幹定点数/二次医療圏数)を算出し検討した。

2) 検討結果

表V-1-1に都道府県別基幹定点数を、表V-1-2に都道府県別二次医療圏あたり基幹定点数を示した。なお、各年の二次医療圏数は3月末現在の数である。

表V-1-1で全国基幹定点数(登録基幹定点数、週別報告平均基幹定点数、月別報告平均基幹定点数)は、2001年が(476, 466.3, 451.0)、2002年が(477, 471.3, 462.7)、2003年が(479, 464.4, 466.8)、2004年が(480, 472.0, 469.8)、2005年が(478, 470.5, 469.6)であった。3方法で算出した値の差は年を追う毎に小さくなっていた。2001～2005年で全国登録基幹定点数は476~480と各年ほぼ同様で、3方法で算出した全国基幹定点数の中では登録基幹定点数が各年最も大きな数だった。都道府県別基幹定点数は各年大きな変化はなかった。2005年の都道府県別基幹定点数は北海道(23, 23.0, 24.0)、岩手(20.0, 20.0, 20.0)、東京(24, 25.0, 25.0)、広島(21, 19.0, 21.0)で多く、富山(5, 5.0, 5.0)、石川(5, 5.0, 5.0)、岐阜(5, 5.0, 5.0)、鳥取(5, 5.0, 5.0)、岡山(5, 5.0, 5.0)、香川(5, 5.0, 4.0)で少なかった。3方法で算出した基幹定点数がほぼ一致している都道府県は近年増加していた。登録基幹定点数と平均基幹定点数の差が大きかった東京、大阪などでも、年を追う毎に差は小さくなっていた。

表V-1-2で都道府県別二次医療圏あたり基幹定点数は、各年ほとんどの都道府県で1以上2未満であった。宮城県は2003年までは2.4であったが、2004年以降は1.2に半減していた。2005年に二次医療圏あたり基幹定点数が2以上の都道府県は岩手(2.2)、山形(2.5)、三重(2.3)、広島(3.0)の4県のみであった。

3) 基幹定点数のまとめ

年を追う毎に登録基幹定点数と週別・月別報告平均基幹定点数の差が小さくなっている都道府県が増加しており、各定点から保健所への報告状況は年々改善されている(報告もれが減少している)と推測された。保健所に患者情報の報告を行っている基幹定点数は、2005年は全国で約470か所であった。

都道府県別二次医療圏あたり基幹定点数(登録基幹定点数/二次医療圏数)は全ての都道府県で1か所以上であり、「患者を300人以上収容する病院を各二次医療圏域毎に1か所以上基幹定点として指定する」という現行の選定基準は守られているものと推測された。今後は、基幹定点が実際に各二次医療圏毎に1か所以上指定されているのか確認するとともに、患者集積状況に影響を与えようと考え

られる定点の医療施設レベル（病床数、診療科）の検討が必要であるとする。

表V-1-1 都道府県別基幹定点数

	2001年(平成13年)			2002年(平成14年)			2003年(平成15年)			2004年(平成16年)			2005年(平成17年)		
	登録基幹定点数	平均基幹定点数		登録基幹定点数	平均基幹定点数		登録基幹定点数	平均基幹定点数		登録基幹定点数	平均基幹定点数		登録基幹定点数	平均基幹定点数	
		週別報告	月別報告		週別報告	月別報告		週別報告	月別報告		週別報告	月別報告		週別報告	月別報告
北海道	23	23.0	22.7	23	23.0	22.7	23	23.2	23.0	23	23.1	24.0	23	23.0	24.0
青森	6	6.0	6.0	6	5.7	6.0	6	6.0	6.0	6	6.0	6.0	6	6.0	6.0
岩手	20	20.0	20.0	20	20.0	20.0	20	20.0	20.0	20	20.0	20.0	20	20.0	20.0
宮城	12	12.0	12.0	12	11.9	11.9	12	12.0	11.9	12	12.0	12.0	12	12.0	11.9
秋田	8	7.6	8.0	8	8.0	7.9	8	7.3	7.3	8	7.0	7.0	8	7.8	8.0
山形	10	9.7	9.7	10	10.0	10.0	10	10.0	10.0	10	10.0	10.0	10	10.0	10.0
福島	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0	7	7.0	6.8	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0
茨城	11	11.0	9.3	12	11.0	11.0	13	10.0	10.9	13	11.0	9.9	13	11.1	10.1
栃木	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0
群馬	10	9.9	9.9	10	10.0	10.0	10	10.0	10.0	10	10.0	10.0	10	10.0	10.0
埼玉	9	9.0	9.0	9	9.0	9.0	9	9.0	8.8	10	9.0	9.0	10	9.0	9.0
千葉	9	13.0	9.0	9	13.0	8.9	9	13.0	9.0	9	10.2	9.0	9	9.0	9.0
東京	25	24.9	19.9	25	25.0	21.2	25	25.0	24.9	25	25.0	24.9	24	25.0	25.0
神奈川	12	11.0	11.0	12	11.0	11.0	12	11.9	11.0	12	12.0	11.0	12	12.0	11.0
新潟	13	13.0	13.0	13	12.3	12.6	13	12.0	12.7	13	12.4	13.0	13	13.0	12.9
富山	5	5.0	5.0	5	5.0	5.0	5	5.0	5.0	5	5.0	5.0	5	5.0	5.0
石川	5	5.0	5.0	5	5.0	5.0	5	5.0	5.0	5	5.0	5.0	5	5.0	5.0
福井	7	5.8	6.0	7	6.0	6.0	7	6.0	6.8	6	6.0	6.7	6	6.0	5.7
山梨	10	10.0	10.0	10	10.0	10.0	10	10.0	10.0	10	10.0	10.0	10	10.0	10.0
長野	11	11.1	11.0	11	11.0	11.0	11	11.0	11.0	11	11.0	11.0	11	11.0	11.0
岐阜	5	4.0	5.0	5	4.0	5.0	5	4.9	5.0	5	4.9	5.0	5	5.0	5.0
静岡	10	8.0	10.0	10	9.8	10.0	10	10.0	10.0	10	10.0	9.9	10	10.0	10.0
愛知	13	13.0	12.6	13	13.0	13.0	13	12.8	13.3	13	13.0	13.0	13	13.0	13.0
三重	9	8.8	8.5	9	9.0	8.0	9	9.0	9.0	9	9.0	9.0	9	9.0	9.0
滋賀	7	7.0	7.0	7	7.0	6.0	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0
京都	7	6.0	6.6	7	6.0	7.0	7	5.3	5.8	7	6.3	7.1	7	7.0	7.0
大阪	15	11.2	8.6	15	15.0	13.8	15	15.0	14.0	15	15.0	14.0	15	14.0	14.0
兵庫	14	14.0	13.7	14	13.0	13.9	14	12.0	13.2	14	12.6	14.0	14	13.4	13.0
奈良	6	6.0	5.9	5	6.0	5.9	6	5.9	5.8	6	6.0	6.0	6	6.0	6.0
和歌山	11	11.0	10.1	11	11.0	11.0	11	11.0	11.0	11	11.0	10.9	11	11.0	11.0
鳥取	5	5.0	5.0	5	5.0	5.0	5	5.0	5.0	5	5.0	5.0	5	5.0	5.0
島根	8	8.0	8.0	8	8.0	8.0	8	8.0	7.8	8	8.0	8.0	8	8.0	8.0
岡山	5	5.0	4.4	5	4.7	4.2	5	5.0	4.8	5	5.0	5.0	5	5.0	5.0
広島	21	18.3	18.5	21	21.0	21.0	21	14.0	20.5	21	19.5	20.7	21	19.0	21.0
山口	9	9.0	7.3	10	8.0	7.6	10	8.8	8.5	11	9.0	8.7	11	9.0	9.0
徳島	7	6.0	7.0	7	6.0	6.9	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0
香川	5	5.0	5.0	5	5.0	5.0	5	5.0	5.0	5	5.0	4.0	5	5.0	4.0
愛媛	6	6.0	6.0	6	6.0	5.9	6	6.0	6.0	6	6.0	6.0	6	6.0	6.0
高知	8	8.0	8.0	8	8.0	8.0	8	8.0	7.7	8	9.0	8.0	7	7.0	7.0
福岡	15	15.0	16.8	15	15.0	16.0	15	15.0	16.0	15	15.0	15.3	15	15.0	16.0
佐賀	6	6.0	6.0	6	6.0	6.0	6	6.0	6.0	6	6.0	6.0	6	6.3	6.0
長崎	12	14.0	9.8	12	12.2	11.3	12	11.3	10.3	12	12.0	12.0	12	12.0	12.0
熊本	15	15.0	15.0	15	15.0	15.0	15	15.0	15.0	15	15.0	15.0	15	15.0	15.0
大分	11	10.0	10.0	11	10.7	10.0	11	11.0	10.0	11	11.0	10.0	11	11.0	10.0
宮崎	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0
鹿児島	12	12.0	12.0	12	12.0	12.0	12	12.0	12.0	12	12.0	11.8	12	12.0	12.0
沖縄	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0	7	7.0	7.0
全国	476	466.3	451.0	477	471.3	462.7	479	464.4	466.8	480	472.0	469.8	478	470.5	469.6

表V-1-2 都道府県別二次医療圏あたり基幹定点数

	2001年			2002年			2003年			2004年			2005年		
	登録基幹定点数	二次医療圏数	(A)/(B)	登録基幹定点数	二次医療圏数	(A)/(B)	登録基幹定点数	二次医療圏数	(A)/(B)	登録基幹定点数	二次医療圏数	(A)/(B)	登録基幹定点数	二次医療圏数	(A)/(B)
	(A)	(B)		(A)	(B)		(A)	(B)		(A)	(B)		(A)	(B)	
北海道	23	21	1.1	23	21	1.1	23	21	1.1	23	21	1.1	23	21	1.1
青森	6	6	1.0	6	6	1.0	6	6	1.0	6	6	1.0	6	6	1.0
岩手	20	9	2.2	20	9	2.2	20	9	2.2	20	9	2.2	20	9	2.2
宮城	12	5	2.4	12	5	2.4	12	5	2.4	12	10	1.2	12	10	1.2
秋田	8	8	1.0	8	8	1.0	8	8	1.0	8	8	1.0	8	8	1.0
山形	10	4	2.5	10	4	2.5	10	4	2.5	10	4	2.5	10	4	2.5
福島	7	7	1.0	7	7	1.0	7	7	1.0	7	7	1.0	7	7	1.0
茨城	11	9	1.2	12	9	1.3	13	9	1.4	13	9	1.4	13	9	1.4
栃木	7	5	1.4	7	5	1.4	7	5	1.4	7	5	1.4	7	5	1.4
群馬	10	10	1.0	10	10	1.0	10	10	1.0	10	10	1.0	10	10	1.0
埼玉	9	9	1.0	9	9	1.0	9	9	1.0	10	9	1.1	10	9	1.1
千葉	9	8	1.1	9	8	1.1	9	8	1.1	9	8	1.1	9	9	1.0
東京	25	13	1.9	25	13	1.9	25	13	1.9	25	13	1.9	24	13	1.8
神奈川	12	11	1.1	12	11	1.1	12	11	1.1	12	11	1.1	12	11	1.1
新潟	13	13	1.0	13	13	1.0	13	13	1.0	13	13	1.0	13	13	1.0
富山	5	4	1.3	5	4	1.3	5	4	1.3	5	4	1.3	5	4	1.3
石川	5	4	1.3	5	4	1.3	5	4	1.3	5	4	1.3	5	4	1.3
福井	7	4	1.8	7	4	1.8	7	4	1.8	6	4	1.5	6	4	1.5
山梨	10	8	1.3	10	8	1.3	10	8	1.3	10	8	1.3	10	8	1.3
長野	11	10	1.1	11	10	1.1	11	10	1.1	11	10	1.1	11	10	1.1
岐阜	5	5	1.0	5	5	1.0	5	5	1.0	5	5	1.0	5	5	1.0
静岡	10	10	1.0	10	10	1.0	10	10	1.0	10	9	1.1	10	9	1.1
愛知	13	11	1.2	13	11	1.2	13	11	1.2	13	11	1.2	13	11	1.2
三重	9	4	2.3	9	4	2.3	9	4	2.3	9	4	2.3	9	4	2.3
滋賀	7	7	1.0	7	7	1.0	7	7	1.0	7	7	1.0	7	7	1.0
京都	7	6	1.2	7	6	1.2	7	6	1.2	7	6	1.2	7	6	1.2
大阪	15	8	1.9	15	8	1.9	15	8	1.9	15	8	1.9	15	8	1.9
兵庫	14	10	1.4	14	10	1.4	14	10	1.4	14	10	1.4	14	10	1.4
奈良	6	3	2.0	5	3	1.7	6	3	2.0	6	5	1.2	6	5	1.2
和歌山	11	7	1.6	11	7	1.6	11	7	1.6	11	7	1.6	11	7	1.6
鳥取	5	3	1.7	5	3	1.7	5	3	1.7	5	3	1.7	5	3	1.7
島根	8	7	1.1	8	7	1.1	8	7	1.1	8	7	1.1	8	7	1.1
岡山	5	5	1.0	5	5	1.0	5	5	1.0	5	5	1.0	5	5	1.0
広島	21	7	3.0	21	7	3.0	21	7	3.0	21	7	3.0	21	7	3.0
山口	9	9	1.0	10	9	1.1	10	9	1.1	11	9	1.2	11	9	1.2
徳島	7	6	1.2	7	6	1.2	7	6	1.2	7	6	1.2	7	6	1.2
香川	5	5	1.0	5	5	1.0	5	5	1.0	5	5	1.0	5	5	1.0
愛媛	6	6	1.0	6	6	1.0	6	6	1.0	6	6	1.0	6	6	1.0
高知	8	4	2.0	8	4	2.0	8	4	2.0	8	4	2.0	7	4	1.8
福岡	15	13	1.2	15	13	1.2	15	13	1.2	15	13	1.2	15	13	1.2
佐賀	6	5	1.2	6	5	1.2	6	5	1.2	6	5	1.2	6	5	1.2
長崎	12	9	1.3	12	9	1.3	12	9	1.3	12	9	1.3	12	9	1.3
熊本	15	11	1.4	15	11	1.4	15	11	1.4	15	11	1.4	15	11	1.4
大分	11	10	1.1	11	10	1.1	11	10	1.1	11	10	1.1	11	10	1.1
宮崎	7	7	1.0	7	7	1.0	7	7	1.0	7	7	1.0	7	7	1.0
鹿児島	12	12	1.0	12	12	1.0	12	12	1.0	12	12	1.0	12	12	1.0
沖縄	7	5	1.4	7	5	1.4	7	5	1.4	7	5	1.4	7	5	1.4
全国	476	363	1.3	477	363	1.3	479	363	1.3	480	369	1.3	478	370	1.3

注：各年の二次医療圏数は3月末現在の数。

V-2. 基幹定点からの患者情報の時間的分布の検討

1) 検討方法

検討資料は 2001~2005 年の5年間における感染症発生動向調査データである。週別把握疾患では保健所別データの週報の保健所別報告数、月別把握疾患では保健所別データの月報の保健所別報告数を使用した。なお、定点あたり報告数を算出する際に用いた基幹定点数は、週別把握疾患では各年の週別報告平均基幹定点数、月別把握疾患では各年の月別報告平均基幹定点数である。

まず疾患別に、全国基幹定点からの患者情報（定点あたり報告数）の時間的変化を観察し、季節的流行や定点あたり報告数の年次推移を明らかにする。

次に全国を8つの地方（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州）に分けて、疾患別に地方別患者情報（定点あたり報告数）の時間的変化を観察する。具体的には週別把握疾患は各週の報告数を月別に集計し、それを合計週数（4又は5週）で割って各月の週あたり報告数を求め、各年の週別報告平均基幹定点数で割って、各月の週あたり定点あたり報告数を求め観察した。月別把握疾患は各月の報告数を、それぞれ各年の月別報告平均基幹定点数で割って、各月の定点あたり報告数を求め観察した。各地方でも全国でみられた季節的流行がみられるのか、地方によって定点あたり報告数の大きさや年次推移が異なるのかを検討する。

2) 検討結果

(1) 全国の時間的変化

基幹定点からの各年の全国年間報告数は、細菌性髄膜炎は 273 ~ 388 人（定点あたり 0.59~0.82 人）、無菌性髄膜炎は 771 ~ 2948 人（定点あたり 1.64~6.26 人）、マイコプラズマ肺炎は 4268 ~ 6820 人（定点あたり 9.06~14.50 人）、クラミジア肺炎は 182 ~ 322 人（定点あたり 0.39~0.68 人）、成人麻疹は 8 ~ 927 人（定点あたり 0.02~1.99 人）、MRSA 感染症は 18,257~22,454 人（定点あたり 40.48 ~ 47.82 人）、PRSP 感染症は 5202 ~ 6700 人（定点あたり 11.53~14.26 人）、薬剤耐性緑膿菌感染症は 608 ~ 747 人（定点あたり 1.35~1.60 人）で、疾患によって報告数は様々だった。

図V-2-1に細菌性髄膜炎、図V-2-2に無菌性髄膜炎、図V-2-3にマイコプラズマ肺炎、図V-2-4にクラミジア肺炎、図V-2-5に成人麻疹の各月の週あたり定点あたり報告数を示す。図V-2-6にMRSA感染症、図V-2-7にPRSP感染症、図V-2-8に薬剤耐性緑膿菌感染症の月別定点あたり報告数を示す。

細菌性髄膜炎は各年に共通する季節的流行はみられなかった。定点あたり報告数は、2004年は他年に比し若干多く推移していた。無菌性髄膜炎は各年夏季（7~9月頃）に季節的流行がみられ、年次別にみると2002年に最も大きな流行がみられた。各年の夏季の定点あたり報告数のピーク値は2002年に次いで2003年が大きく、次いで2004年、2005年の順だった。マイコプラズマ肺炎は各年冬季（11~1月頃）に季節的流行がみられた。定点あたり報告数は年を追う毎に増加していた。クラミジア肺炎は各年に共通する季節的流行はみられなかった。定点あたり報告数は、2003年以降は年を追う毎に増加していた。成人麻疹は2001~2003年は春から夏季（4~7月頃）に季節的流行がみられたが、2004年以降は報告数が激減し季節的流行は明らかでなくなった。年次別にみると2001年に最も大きな流行があり、次いで2002年、2003年に同程度の大きさの流行があった。2005年は2004年に比し定点あたり報告数が一層減少していた。

MRSA感染症は各年に共通する季節的流行はみられなかった。定点あたり報告数は年を追う毎にわずかに増加していた。PRSP感染症は各年5～6月と12月頃に季節的流行がみられた。明らかな流行年はなかった。薬剤耐性緑膿菌感染症は年の前半よりは後半に定点あたり報告数が増加していた。明らかな流行年はなかった。

(2) 地方別の時間的变化

図V-2-9に細菌性髄膜炎、図V-2-10に無菌性髄膜炎、図V-2-11にマイコプラズマ肺炎、図V-2-12にクラミジア肺炎、図V-2-13に成人麻疹の地方別各月の週あたり定点あたり報告数を示す。図V-2-14にMRSA感染症、図V-2-15にPRSP感染症、図V-2-16に薬剤耐性緑膿菌感染症の地方別月別定点あたり報告数を示す。

細菌性髄膜炎は全地方で、各年に共通する季節的流行はみられず、明らかな流行年もなかった。中国地方では定点あたり報告数が多い月が目立ち、北海道では報告数0の月が多かった。無菌性髄膜炎は北海道を除く7地方で、各年夏季に季節的流行をみとめた。北海道でも2002年、2004年は夏季に定点あたり報告数がわずかに増加していたが、2001年、2003年、2005年は定点あたり報告数は通年的に0に近く明らかな季節的变化はみられなかった。定点あたり報告数を8地方で比較すると、中国地方、近畿地方が多く、北海道、東北地方、関東地方で少なかった。2002年夏季の流行時の定点あたり報告数のピーク時期は、四国地方が最も早く、次いで中国地方・近畿地方・中部地方・九州地方、次いで関東地方、最後に東北地方の順であった。中部地方、近畿地方、中国地方では夏季の定点あたり報告数のピーク値が2002年以降は年を追う毎に小さくなっていった。関東地方では、夏季の定点あたり報告数のピーク値が2002年、2003年で同程度だった。マイコプラズマ肺炎は2001年には多くの地方で冬季に季節的流行を認めたが、近年いずれの地方でも季節的流行がはっきりしなくなってきた。九州地方では明らかな定点あたり報告数の季節的变化がみられなかった。定点あたり報告数を8地方で比較すると、東北地方、中国地方が多く、北海道、九州地方では少なかった。定点あたり報告数の時間的推移は地方によって異なっていた。北海道では、定点あたり報告数は2004年の夏季～冬季にかけて最も高値であった。東北地方では、定点あたり報告数は2002年冬季以降は季節を問わず上昇していた。関東地方、中部地方では、年を追う毎に定点あたり報告数が増加していた。九州地方では定点あたり報告数は、近年横ばい～微減で推移していた。クラミジア肺炎は全地方で、各年に共通する季節的流行はみられなかった。定点あたり報告数を8地方で比較すると、東北地方、関東地方、中部地方が多く、北海道で少なかった。定点あたり報告数は多くの地方は横ばいで推移していたが、東北地方では2004年以降に上昇していた。成人麻疹は全地方で2001～2003年は春～夏季に流行がみられたが、2004年以降は定点あたり報告数が激減し季節的流行が明らかでなくなった。2001～2003年の定点あたり報告数を8地方で比較すると、各年関東地方では高く、中国地方で低かった。各年の流行期の定点あたり報告数のピーク値は北海道、関東地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州地方では2001年、中部地方は2002年、東北地方は2003年が最も大きかった。

MRSA感染症は全地方で、各年に共通する季節的流行はみられなかった。定点あたり報告数を8地方で比較すると、中国地方で最も多く、北海道で少なかった。定点あたり報告数の時間的推移は全地方で似通っており、定点あたり報告数は横ばい～軽度増加していた。PRSP感染症は東北地方、関東地方、中部地方、中国地方では5～6月と12月頃に季節的流行がみられたが、近畿地方、四国地方、九州地方、北海道では明らかでなかった。定点あたり報告数を8地方で比較すると、関東地方、中国地方が多く、北海道で最も少なかった。定点あたり報告数は多くの地方で横ばい～軽度増加していたが、近畿地方

では近年わずかに減少していた。薬剤耐性緑膿菌感染症は全地方で、各年に共通する季節的流行はみられなかった。定点あたり報告数は、各地方で大差はなく、全地方で概ね横ばいで推移していた。

3) 基幹定点からの患者情報の時間的分布のまとめ

全国基幹定点あたり報告数を経時的に観察した。無菌性髄膜炎（夏季）、マイコプラズマ肺炎（冬季）、成人麻疹（春から夏季）、PRSP感染症（5～6月と12月頃）では、それぞれ定点あたり報告数に季節的变化（季節的流行）がみられた。一方、細菌性髄膜炎、クラミジア肺炎、MRSA感染症では明らかな季節的变化はみられなかった。定点あたり報告数の年次推移をみると、無菌性髄膜炎は2002年に、成人麻疹は2001年に定点あたり報告数が最も増加しており、流行年次と考えられた。マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎では近年定点あたり報告数が増加していた。MRSA感染症では、年を追う毎に定点あたり報告数が増加していた。成人麻疹では近年定点あたり報告数が激減していた。

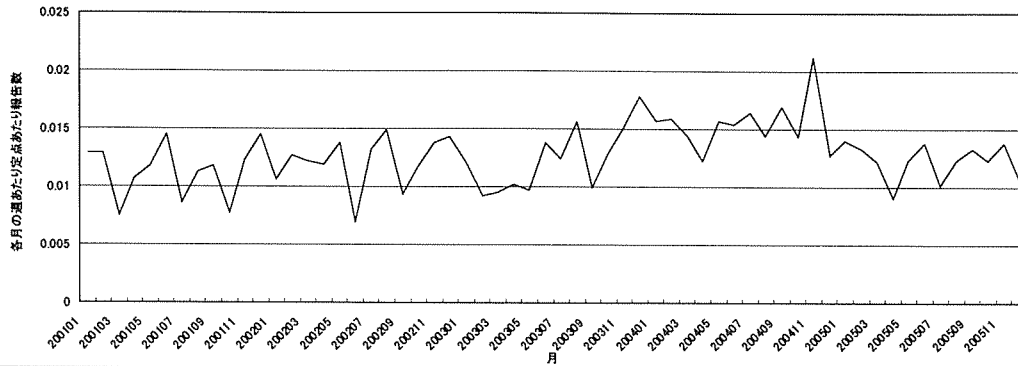
全国基幹定点あたり報告数から明らかになった無菌性髄膜炎や成人麻疹の流行季節と流行年次は、臨床現場からの声と矛盾しないものであった。成人麻疹の感染経路は主に小児と考えられるので、小児の麻疹が激減したため成人麻疹も激減したものと推測される。全国の定点あたり報告数の変化は罹患患者数の変化を反映していると考えられる。

地方別に基幹定点あたり報告数を経時的に観察した。多くの地方で、定点あたり報告数は全国同様の季節的变化（季節的流行）がみられた。しかし無菌性髄膜炎は北海道、マイコプラズマ肺炎は九州地方で明らかな季節的变化を認めないといったように、疾患によっては地方で時間的变化が異なっていた。地方別の経時的観察によって、各地方における流行状況の特徴が把握できると考えられる。

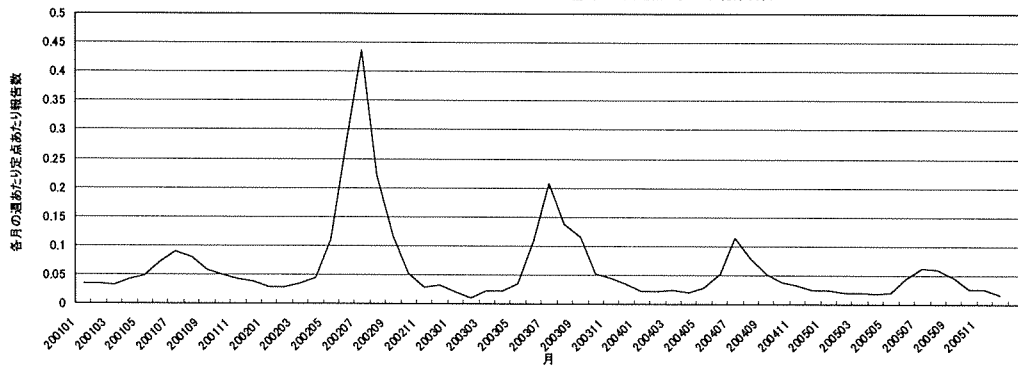
定点あたり報告数を8地方で比較すると、中国地方は多くの疾患（細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、MRSA 感染症、PRSP 感染症）でどの年次でも定点あたり報告数が多かった。一方北海道は多くの疾患（細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎、MRSA 感染症、PRSP 感染症）でどの年次でも定点あたり報告数が少なかった。この地方による定点あたり報告数の多少は、各地方の定点医療機関レベル（病床数、診療科）の違い、定点がカバーする人口の違いの反映であることが考えられる。各地方の定点医療機関レベルや定点がカバーする人口が異なるため、定点あたり報告数から流行の地方格差は把握できないものと考えられた。

疾患発生動向を早期に把握し対策をたてるためには、全国だけでなく地方別にも定点あたり報告数の時間的推移を観察することが有用であると考えられた。

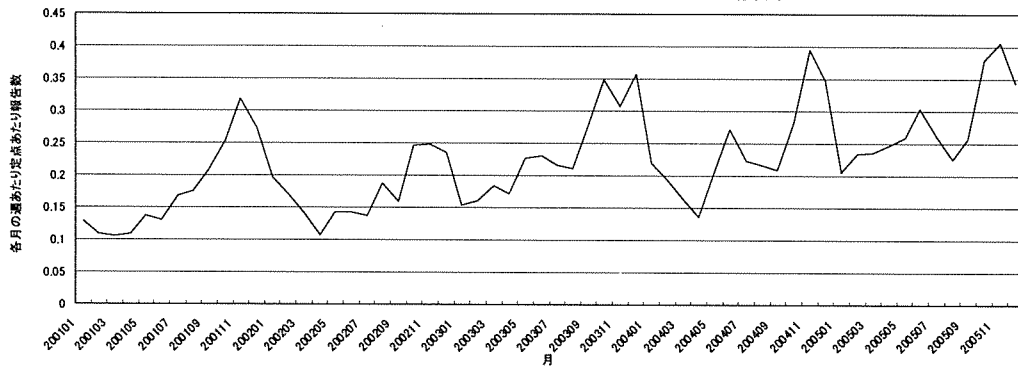
図V-2-1 細菌性髄膜炎 各月の週あたり定点あたり報告数



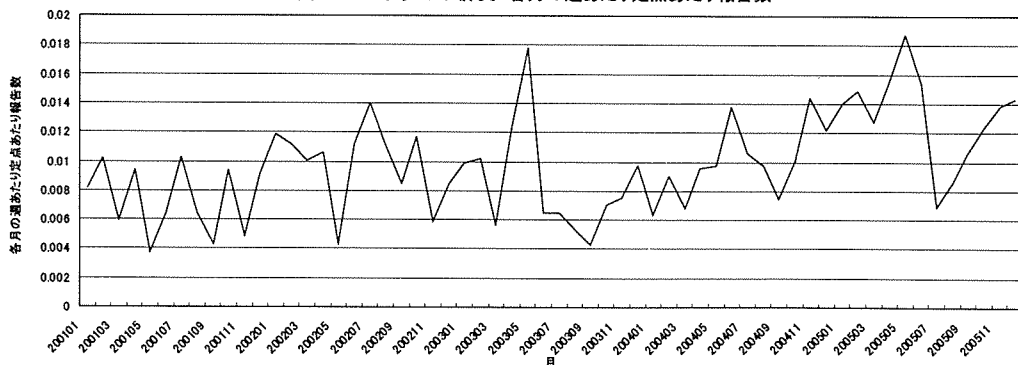
図V-2-2 無菌性髄膜炎 各月の週あたり定点あたり報告数

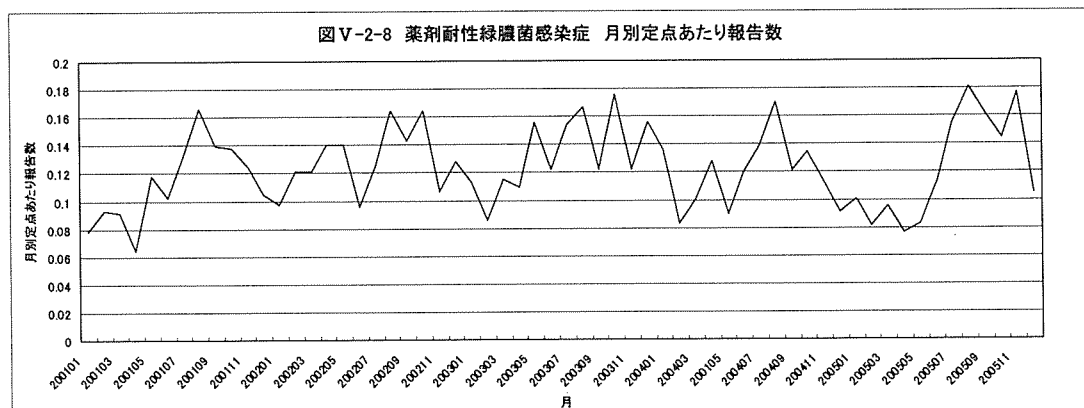
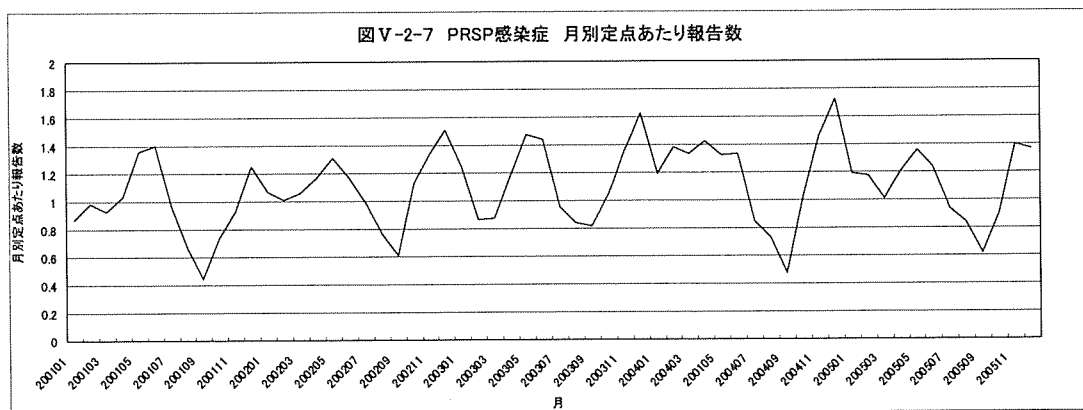
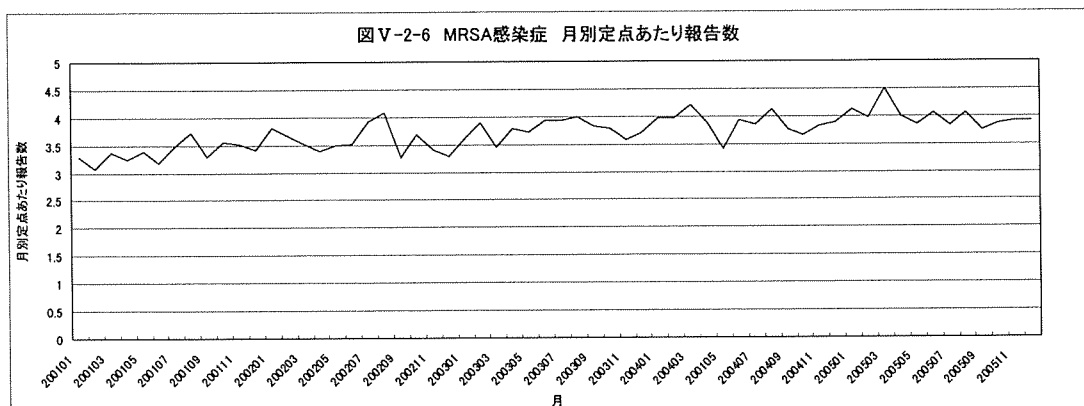
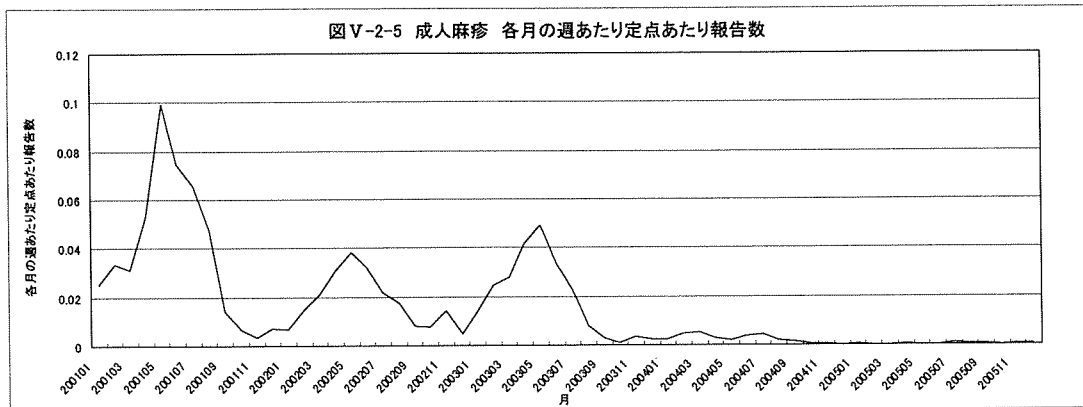


図V-2-3 マイコプラズマ肺炎 各月の週あたり定点あたり報告数

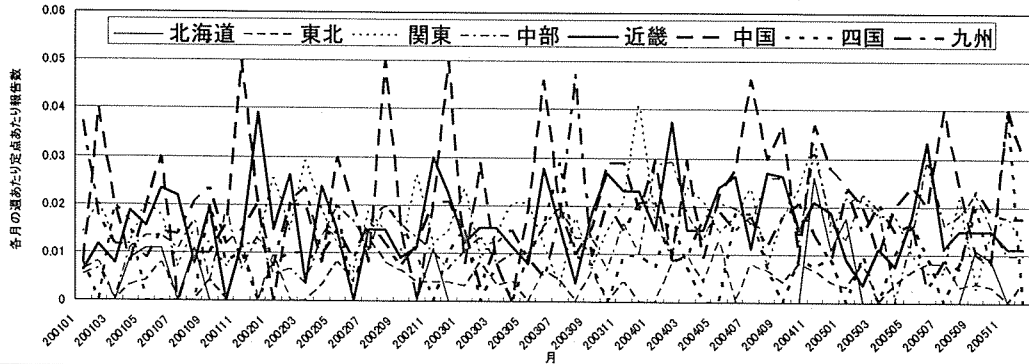


図V-2-4 クラミジア肺炎 各月の週あたり定点あたり報告数

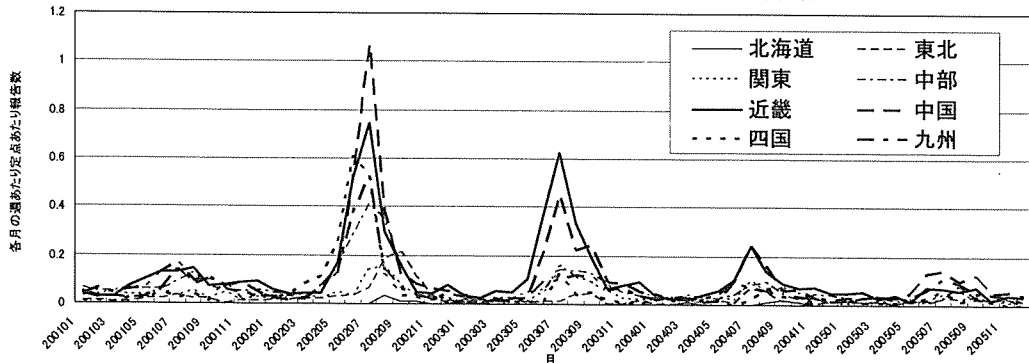




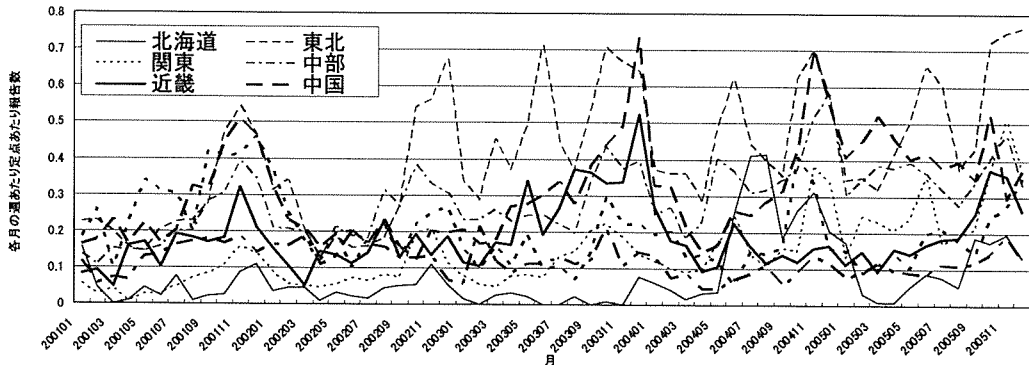
図V-2-9 細菌性髄膜炎 地方別各月の週あたり定点あたり報告数



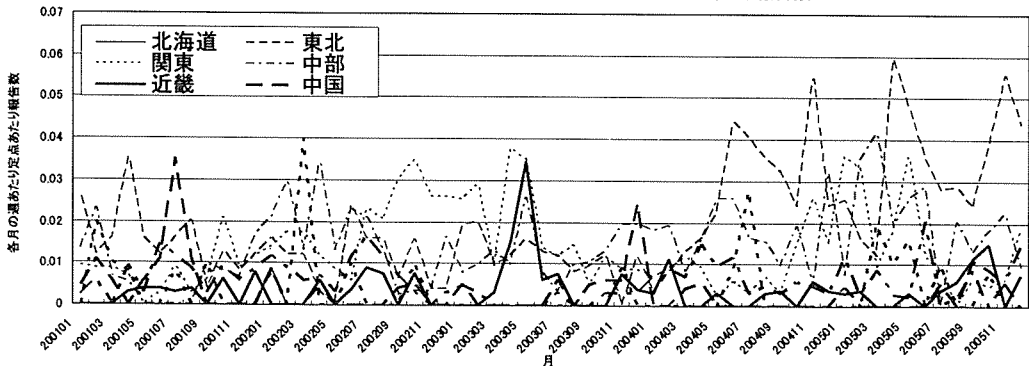
図V-2-10 無菌性髄膜炎 地方別各月の週あたり定点あたり報告数



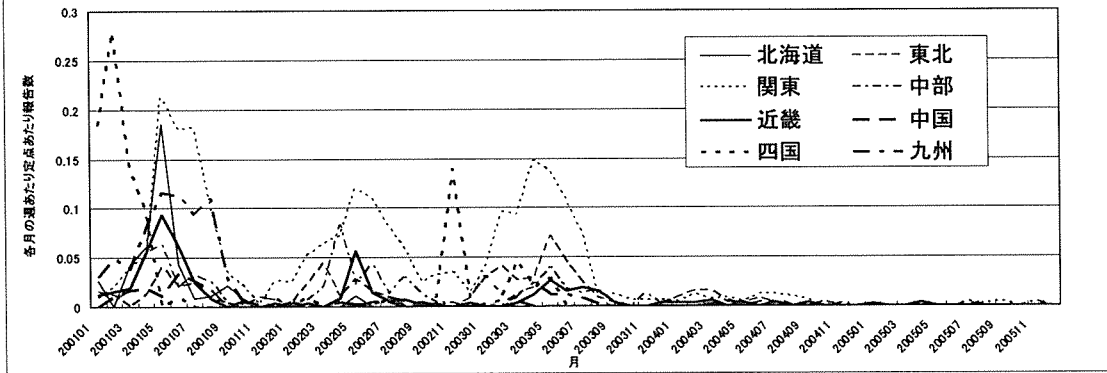
図V-2-11 マイコプラズマ肺炎 地方別各月の週あたり定点あたり報告数



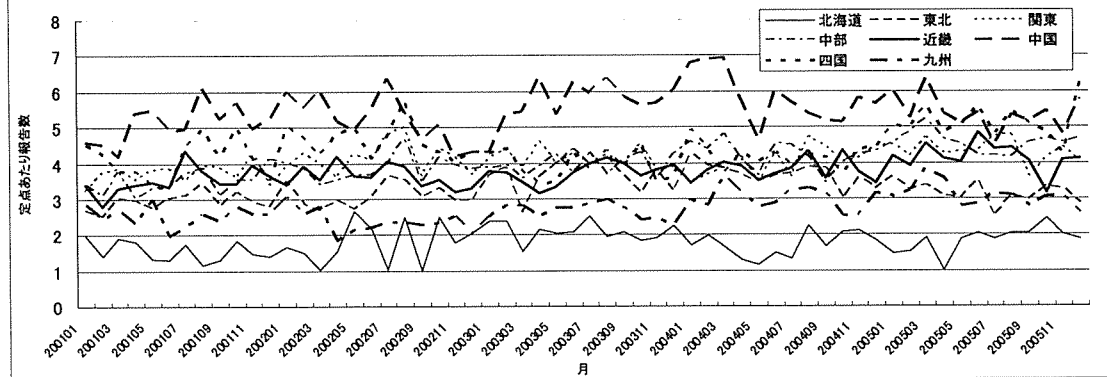
図V-2-12 クラミジア肺炎 地方別各月の週あたり定点あたり報告数



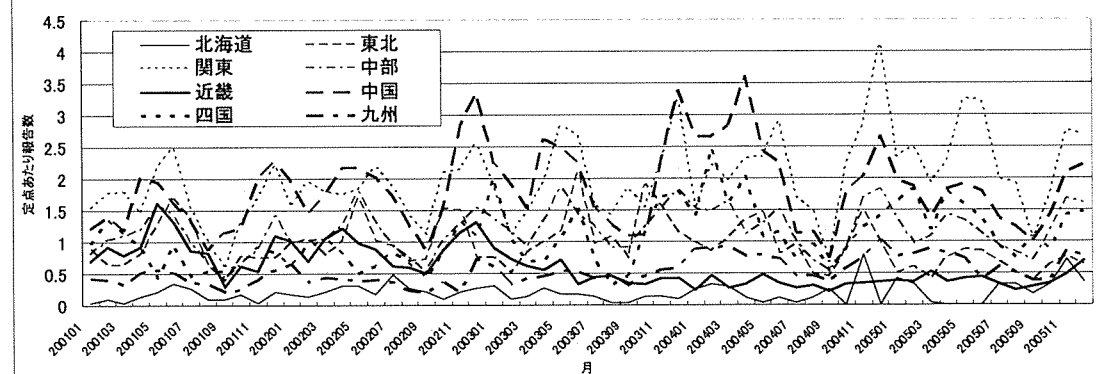
図V-2-13 成人麻疹 地方別各月の週あたり定点あたり報告数



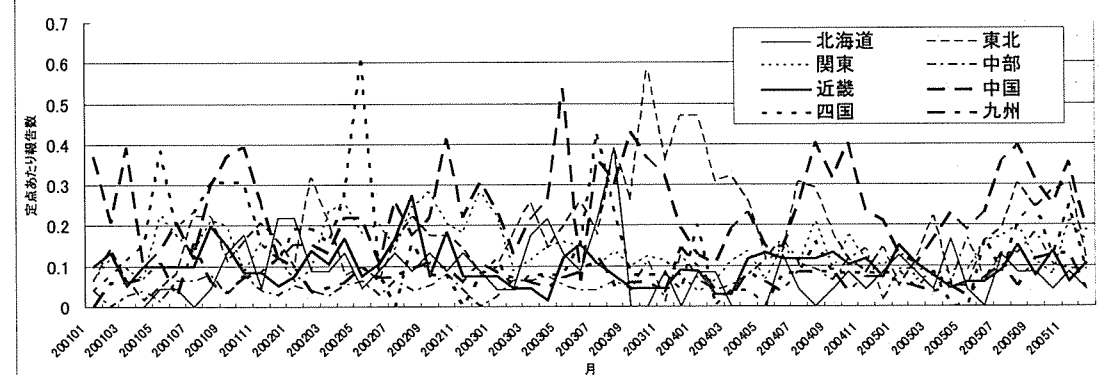
図V-2-14 MRSA感染症 地方別月別定点あたり報告数



図V-2-15 PRSP感染症 地方別月別定点あたり報告数



図V-2-16 薬剤耐性緑膿菌感染症 地方別月別定点あたり報告数



V-3. 基幹定点からの患者情報の性・地域分布(都道府県分布)の検討

1) 検討方法

検討資料はV-2と同様である。

まず疾患別に都道府県別性別報告数・定点あたり報告数を年次別に示し、基幹定点からの患者情報の性・地域分布を検討した。

2) 検討結果

表V-3-1に細菌性髄膜炎、表V-3-2に無菌性髄膜炎、表V-3-3にマイコプラズマ肺炎、表V-3-4にクラミジア肺炎、表V-3-5に成人麻疹、表V-3-6にMRSA感染症、表V-3-7にPRSP感染症、表V-3-8に薬剤耐性緑膿菌感染症の都道府県別性別報告数・定点あたり報告数を示す。

性別全国年間報告数は、成人麻疹では各年明らかな男女差はなく、マイコプラズマ肺炎はやや女に多く、その他の疾患は男に多かった。マイコプラズマ肺炎の性比(男/女)は、2001年0.91、2002年0.85、2003年0.90、2004年0.89、2005年0.84であった。

都道府県別年間定点あたり報告数は、細菌性髄膜炎では全ての都道府県で定点あたり報告数の年次変化は明らかでなかった。無菌性髄膜炎では多くの府県で定点あたり報告数の年次変化がみられた。最も定点あたり報告数の多い年次は、岡山(定点あたり0.20~27.80人)、滋賀(3.57~20.14人)をはじめとして2002年である県が半数以上をしめていた。しかし最も定点あたり報告数の多い年次が2002年ではない県(和歌山は2003年定点あたり11.91人、沖縄は2001年定点あたり8.71人他)もあった。一方北海道、岩手、宮城、茨城、富山、山口、徳島、香川、大分では各年定点あたり2人未満で、年次変化は明らかでなかった。マイコプラズマ肺炎では多くの都道府県で定点あたり報告数の年次変化がみられた。特に福島(定点あたり2.57~57.86人)、山口(5.44~52.67人)、石川(3.80~52.00人)、青森(0.00~38.43人)、群馬(1.91~36.90人)、埼玉(1.79~36.52人)では年次による報告数の増減が大きかった。最も定点あたり報告数の多い年次は、鳥取(9.20~35.40人)は2001年、新潟(11.32~31.41人)は2002年、岡山(23.77~54.40人)・山形(7.65~40.60人)は2003年、秋田(19.64~35.14人)は2004年、福島・山口・石川は2005年といったように、都道府県によって様々であった。一方神奈川、岐阜、徳島、香川では定点あたり報告数は各年5人未満と少なく、年次変化は明らかでなかった。クラミジア肺炎は各年半数近くの都道府県で報告数は0人であり、年次変化は明らかでなかった。一方特定の県からは一定数の報告がみられ、福島では2001~2003年は報告数が0~1人であったが、2004年は48人(定点あたり6.82人)に急増し、さらに2005年は93人(定点あたり13.29人)と倍増しており、定点あたり報告数の年次変化が明らかであった。成人麻疹では沖縄(定点あたり0.00~12.14人)、高知(0.00~9.88人)、東京(0.04~7.27人)、福岡(0.07~5.27人)、石川(0.00~5.20人)をはじめとして、報告数が最も多い年次が2001年である都道府県が多かった。ただし神奈川(2002年定点あたり7.09人)、福島(2003年定点あたり5.14人)をはじめとして、最も報告数の多い年次が2002年、2003年の県も数県あった。一方定点あたり報告数が各年1人未満で年次変化が明らかでない府県は18あった。2004年には全ての都道府県で定点あたり報告数は横ばい~減少し、2005年には全都道府県で年間報告数は0~1人(定点あたり0.00~0.10人)であり、激減していた。

MRSA 感染症ではほとんどの都道府県から定点あたり数十人の報告がみられ、各都道府県で最も報告数の多い年次は異なっていた。PRSP 感染症では定点あたり報告数が際だって多い県と少ない県

が混在していたが、定点あたり報告数が特に多かった千葉（84.56~127.22人）、富山（36.60~86.00人）、高知（19.75~43.57人）では最も報告数の多い年次は異なっていた。定点あたり報告数が各年少ない県では年次変化は明らかでなかった。薬剤耐性緑膿菌感染症では半数以上の都道府県で各年定点あたり2人未満と報告数は少なく、年事変化は明らかでなかった。

3) 基幹定点からの患者情報の性・地域分布(都道府県分布)のまとめ

基幹定点からの患者情報で罹患患者の性が把握できる。患者の性比は臨床的に重要な情報である。性別年間報告数は細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎、薬剤耐性菌感染症3疾患では各年男に多く、成人麻疹では男女差はなく、マイコプラズマ肺炎では女に多かった。マイコプラズマ肺炎の性比(男/女)は各年0.9前後であった。

各都道府県で定点あたり報告数を年次別に観察すると、無菌性髄膜炎やマイコプラズマ肺炎、成人麻疹では様々な年次変化がみられた。定点あたり報告数の最も多い年次は、無菌性髄膜炎では2002年の県が多かったが、マイコプラズマ肺炎では各都道府県で異なっていた。成人麻疹は全ての都道府県で定点あたり報告数は近年激減していた。クラミジア肺炎は多くの都道府県で年次変化はみられなかったが、特定の県では年次変化がみられ、その県では近年定点あたり報告数が急増していた。MRSA感染症、PRSP感染症では、各都道府県で報告数の最も多い年次は異なっていた。細菌性髄膜炎、薬剤耐性緑膿菌感染症は多くの都道府県で定点あたり報告数の年次変化は明らかでなかった。

各都道府県で定点あたり報告数を年次別に観察すると、その地域の患者数の時間的変化を把握できると考えられる。ある疾患で定点あたり報告数が増加した時には、管轄する保健所や県が、真に流行であるのか、定点の変更など的人為的行為の影響であるのかを慎重に調査し確認することによって、基幹定点からの情報(都道府県別定点あたり報告数)を有効に活用できる。例えば、クラミジア肺炎では福島で2004年以降に定点あたり報告数が急増していたが、県内の定点全てで増加しているのか、特定の定点で増加しているのか(その場合は定点と同じ二次医療圏に属する他の病院でも同様に増加しているのか)、定点の変更があったためなのかなどが明らかにできれば、真の流行があったのか否かが判断できると考えられる。

表V-3-1 細菌性髄膜炎 都道府県別性別報告数・定点あたり報告数

	2001年				2002年				2003年				2004年				2005年			
	男	女	総計	定点あたりの報告数 (人/定点)	男	女	総計	定点あたりの報告数 (人/定点)	男	女	総計	定点あたりの報告数 (人/定点)	男	女	総計	定点あたりの報告数 (人/定点)	男	女	総計	定点あたりの報告数 (人/定点)
北海道	3	1	4	0.17	0	1	1	0.04	0	0	0	0.00	4	0	4	0.17	2	2	4	0.17
青森	0	0	0	0.00	1	0	1	0.17	1	0	1	0.17	2	0	2	0.33	1	1	2	0.33
岩手	0	1	1	0.05	1	0	1	0.05	0	1	1	0.05	3	3	6	0.30	1	3	4	0.20
宮城	0	1	1	0.08	3	3	6	0.50	0	0	0	0.00	1	1	2	0.17	0	0	0	0.00
秋田	1	1	2	0.26	1	0	1	0.13	1	1	2	0.28	1	0	1	0.14	0	0	0	0.00
山形	3	2	5	0.52	3	2	5	0.50	4	3	7	0.70	7	2	9	0.90	5	0	5	0.50
福島	2	1	3	0.43	4	0	4	0.57	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	1	2	3	0.43
茨城	0	0	0	0.00	1	0	1	0.09	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	1	0	1	0.09
栃木	4	5	9	1.29	7	2	9	1.29	3	2	5	0.71	3	7	10	1.43	6	0	6	0.86
群馬	4	4	8	0.81	3	5	8	0.80	3	11	14	1.40	9	6	15	1.50	5	6	11	1.10
埼玉	4	4	8	0.89	7	8	15	1.67	11	8	19	2.12	6	3	9	1.00	7	5	12	1.34
千葉	5	7	12	0.92	8	1	9	0.69	6	4	10	0.77	3	9	12	1.18	2	3	5	0.56
東京	6	6	12	0.48	16	8	24	0.96	10	8	18	0.72	15	10	25	1.00	8	9	17	0.68
神奈川	5	4	9	0.82	5	4	9	0.82	2	6	8	0.67	7	5	12	1.00	4	6	10	0.83
新潟	1	0	1	0.08	4	5	9	0.73	6	4	10	0.83	8	6	14	1.13	1	2	3	0.23
富山	1	1	2	0.40	0	0	0	0.00	2	0	2	0.40	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
石川	1	1	2	0.40	1	1	2	0.40	5	1	6	1.20	5	8	13	2.60	9	1	10	2.00
福井	2	0	2	0.35	1	1	2	0.33	2	3	5	0.84	11	9	20	3.33	9	14	23	3.85
山梨	2	2	4	0.40	2	1	3	0.30	2	3	5	0.50	2	1	3	0.30	2	3	5	0.50
長野	5	4	9	0.81	4	4	8	0.73	2	3	5	0.45	6	2	8	0.73	1	0	1	0.09
岐阜	0	0	0	0.00	0	2	2	0.50	0	0	0	0.00	2	2	4	0.40	1	0	1	0.20
静岡	8	2	10	1.25	4	1	5	0.51	5	1	6	0.60	7	6	13	1.30	4	4	8	0.80
愛知	4	5	9	0.69	10	5	15	1.15	7	2	9	0.70	8	8	16	1.23	7	5	12	0.92
三重	7	0	7	0.79	2	1	3	0.33	0	3	3	0.33	6	4	10	1.11	2	1	3	0.33
滋賀	1	1	2	0.29	2	1	3	0.43	3	3	6	0.86	2	0	2	0.29	1	1	2	0.29
京都	0	0	0	0.00	2	0	2	0.33	1	1	2	0.38	2	2	4	0.63	0	0	0	0.00
大阪	10	1	11	0.98	9	2	11	0.73	6	2	8	0.53	11	8	19	1.27	18	8	26	1.86
兵庫	9	2	11	0.79	5	8	13	1.00	6	5	11	0.92	9	4	13	1.03	3	4	7	0.52
奈良	3	0	3	0.50	0	1	1	0.17	1	1	2	0.34	4	1	5	0.84	2	2	4	0.67
和歌山	8	8	16	1.45	11	10	21	1.91	12	13	25	2.27	14	7	21	1.91	3	2	5	0.45
鳥取	2	4	6	1.20	1	1	2	0.40	1	0	1	0.20	1	2	3	0.60	6	2	8	1.60
島根	3	2	5	0.63	0	1	1	0.13	4	2	6	0.75	3	5	8	1.00	5	1	6	0.75
岡山	2	2	4	0.80	2	5	7	1.49	1	3	4	0.80	1	1	2	0.40	2	0	2	0.40
広島	5	4	9	0.49	5	5	10	0.48	5	7	12	0.86	16	5	21	1.08	7	3	10	0.53
山口	0	0	0	0.00	3	2	5	0.62	3	0	3	0.34	3	1	4	0.44	2	1	3	0.33
徳島	1	1	2	0.33	0	2	2	0.33	0	0	0	0.00	1	1	2	0.29	0	0	0	0.00
香川	2	1	3	0.60	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
愛媛	0	0	0	0.00	1	0	1	0.17	1	3	4	0.67	2	1	3	0.50	2	3	5	0.83
高知	4	0	4	0.50	6	5	11	1.38	6	3	9	1.13	3	4	7	0.78	3	5	8	1.14
福岡	10	4	14	0.93	9	3	12	0.80	6	5	11	0.73	8	6	14	0.93	7	4	11	0.73
佐賀	6	2	8	1.33	1	1	2	0.33	5	2	7	1.17	1	2	3	0.50	2	4	6	0.95
長崎	2	0	2	0.14	0	1	1	0.08	3	2	5	0.44	1	3	4	0.33	2	5	7	0.58
熊本	17	8	25	1.67	4	8	12	0.80	8	5	13	0.87	9	14	23	1.53	13	11	24	1.60
大分	3	1	4	0.40	0	2	2	0.19	3	3	6	0.55	3	0	3	0.27	1	1	2	0.18
宮崎	5	1	6	0.86	11	10	21	3.00	4	5	9	1.29	4	5	9	1.29	5	7	12	1.71
鹿児島	8	1	9	0.75	4	1	5	0.42	8	4	12	1.00	4	5	9	0.75	1	3	4	0.33
沖縄	6	3	9	1.29	3	4	7	1.00	2	2	4	0.57	1	2	3	0.43	3	0	3	0.43
全国	175	98	273	0.59	167	128	295	0.63	161	135	296	0.64	217	171	388	0.82	167	134	301	0.64

表V-3-2 無菌性髄膜炎 都道府県別性別報告数・定点あたり報告数

	2001年				2002年				2003年				2004年				2005年			
	男	女	総計	定点あたりの報告数 (人/定点)	男	女	総計	定点あたりの報告数 (人/定点)	男	女	総計	定点あたりの報告数 (人/定点)	男	女	総計	定点あたりの報告数 (人/定点)	男	女	総計	定点あたりの報告数 (人/定点)
北海道	0	0	0	0.00	5	0	5	0.22	1	1	2	0.09	4	1	5	0.22	0	0	0	0.00
青森	1	2	3	0.50	52	39	91	15.88	6	3	9	1.50	0	0	0	0.00	1	1	2	0.33
岩手	0	0	0	0.00	0	2	2	0.10	2	0	2	0.10	7	5	12	0.60	2	1	3	0.15
宮城	1	1	2	0.17	9	6	15	1.26	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	2	0	2	0.17
秋田	1	1	2	0.26	3	8	11	1.38	5	6	11	1.52	2	0	2	0.29	21	13	34	4.37
山形	21	4	25	2.58	51	27	78	7.80	6	11	17	1.70	15	8	23	2.30	19	8	27	2.70
福島	6	5	11	1.57	4	1	5	0.71	1	3	4	0.57	8	9	17	2.42	3	0	3	0.43
茨城	1	0	1	0.09	2	3	5	0.45	1	0	1	0.10	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
栃木	21	10	31	4.43	14	14	28	4.00	19	13	32	4.57	19	21	40	5.71	14	2	16	2.29
群馬	8	5	13	1.31	11	5	16	1.60	16	8	24	2.40	30	12	42	4.20	9	5	14	1.40
埼玉	14	7	21	2.33	13	12	25	2.78	7	2	9	1.00	4	6	10	1.11	7	3	10	1.11
千葉	9	9	18	1.38	25	14	39	3.00	21	7	28	2.16	7	5	12	1.18	6	6	12	1.33
東京	27	9	36	1.45	39	27	66	2.64	38	28	66	2.64	18	26	44	1.76	18	10	28	1.12
神奈川	67	20	87	3.36	40	15	55	5.00	31	20	51	4.27	6	9	15	1.25	8	5	13	1.08
新潟	23	22	45	6.55	67	50	117	9.52	31	17	48	4.00	18	18	36	2.90	1	1	2	0.15
富山	2	0	2	0.40	0	1	1	0.20	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
石川	3	3	6	1.20	10	11	21	4.20	18	10	28	5.60	13	4	17	3.40	10	4	14	2.80
福井	23	5	28	4.85	68	48	116	19.40	36	38	74	12.37	12	9	21	3.50	20	4	24	4.01
山梨	7	3	10	1.00	35	25	60	6.00	6	4	10	1.00	10	4	14	1.40	8	7	15	1.50
長野	28	21	49	4.41	43	22	65	5.91	16	10	26	2.36	20	6	26	2.36	1	3	4	0.36
岐阜	0	1	1	0.25	7	1	8	2.00	1	0	1	0.20	0	2	2	0.40	1	0	1	0.20
静岡	36	15	51	6.39	32	18	50	5.11	20	16	36	3.60	21	19	40	4.01	2	0	2	0.20
愛知	12	7	19	1.46	60	33	93	7.15	13	5	18	1.40	11	13	24	1.85	11	0	11	0.85
三重	39	13	52	5.88	82	38	120	13.33	11	7	18	2.00	18	8	26	2.89	9	3	12	1.33
滋賀	17	8	25	3.57	91	50	141	20.14	41	29	70	10.06	44	26	70	10.00	17	11	28	4.00
京都	11	3	14	2.33	27	7	34	5.67	18	15	33	6.19	12	7	19	3.01	1	2	3	0.43
大阪	54	22	76	6.79	71	39	110	7.33	102	40	142	9.47	31	15	46	3.07	15	12	27	1.93
兵庫	22	9	31	2.22	78	35	113	8.69	56	32	88	7.33	18	8	26	2.06	13	7	20	1.49
奈良	44	15	59	9.83	57	36	93	15.50	57	32	89	14.98								

表V-3-3 マイコプラズマ肺炎 都道府県別性別報告数・定点あたり報告数

	2001年				2002年				2003年				2004年				2005年			
	男	女	総計	定点あたりの報告数	男	女	総計	定点あたりの報告数	男	女	総計	定点あたりの報告数	男	女	総計	定点あたりの報告数	男	女	総計	定点あたりの報告数
北海道	28	34	62	2.70	23	27	50	2.17	6	14	20	0.86	119	106	225	9.75	56	63	119	5.17
青森	0	0	0	0.00	32	27	59	10.30	100	109	209	34.83	59	57	116	19.39	93	88	181	30.17
岩手	44	78	122	6.10	131	179	310	15.50	225	245	470	23.50	128	118	246	12.30	132	153	285	14.25
宮城	196	217	413	34.31	101	115	216	18.15	129	197	326	27.17	141	179	320	26.67	149	237	386	32.17
秋田	72	130	202	26.53	105	146	251	31.38	80	106	186	25.66	106	140	246	35.14	66	87	153	19.64
山形	33	41	74	7.65	75	54	129	12.90	186	220	406	40.60	174	210	384	38.40	124	149	273	27.30
福島	46	45	91	13.00	8	10	18	2.57	13	16	29	4.14	95	117	212	30.12	179	226	405	57.86
茨城	0	0	0	0.00	1	1	2	0.18	50	73	123	12.25	88	78	166	15.07	83	67	150	13.57
栃木	10	17	27	3.86	13	20	33	4.71	34	35	69	9.86	26	25	51	7.29	15	22	37	5.29
群馬	9	10	19	1.91	7	10	17	1.70	12	17	29	2.90	86	121	207	20.70	177	192	369	36.90
埼玉	11	8	19	2.11	6	19	25	2.78	9	7	16	1.79	40	53	93	10.36	132	196	328	36.52
千葉	74	56	130	10.00	45	62	107	8.24	53	41	94	7.24	43	44	87	8.52	30	41	71	7.89
東京	19	26	45	1.81	81	82	163	6.52	83	90	173	6.92	79	88	167	6.68	86	78	164	6.56
神奈川	25	21	46	4.18	28	24	52	4.73	9	16	25	2.09	1	2	3	0.25	13	13	26	2.17
新潟	54	93	147	11.32	163	218	386	31.41	151	167	318	26.50	138	189	327	26.30	135	150	285	21.96
富山	19	21	40	8.00	15	29	44	8.80	8	14	22	4.40	19	19	38	7.60	12	26	38	7.60
石川	8	11	19	3.80	6	15	21	4.20	18	25	43	8.60	28	36	64	12.80	117	143	260	52.00
福井	30	26	56	9.71	17	20	37	6.19	15	13	28	4.68	9	11	20	3.33	26	27	53	8.86
山梨	76	83	159	15.90	110	108	218	21.80	104	120	224	22.40	98	105	203	20.30	82	93	175	17.50
長野	20	21	41	3.69	24	23	47	4.27	35	35	70	6.36	160	169	329	29.91	63	94	157	14.27
岐阜	1	1	2	0.50	0	1	1	0.25	6	10	16	3.24	1	1	2	0.40	1	1	2	0.40
静岡	56	76	132	16.54	37	38	75	7.66	48	52	100	10.00	47	71	118	11.82	70	110	180	18.00
愛知	111	118	229	17.62	61	58	119	9.15	194	170	364	23.66	148	157	305	23.46	139	153	292	22.46
三重	23	29	52	5.88	7	4	11	1.22	44	45	89	9.89	25	37	62	6.89	39	53	92	10.22
滋賀	65	58	123	17.57	43	55	98	14.00	51	50	101	14.51	73	46	119	17.00	16	10	26	3.71
京都	3	9	12	2.00	8	15	23	3.83	10	16	26	4.88	10	10	20	3.16	24	22	46	6.57
大阪	91	98	189	16.89	86	93	179	11.93	219	217	436	29.07	81	69	150	10.00	177	195	372	26.57
兵庫	33	33	66	4.72	59	52	111	8.54	33	48	81	6.75	22	33	55	4.36	27	27	54	4.02
奈良	25	31	56	9.33	25	22	47	7.83	32	17	49	8.25	37	26	63	10.53	20	18	38	6.33
和歌山	18	16	34	3.09	7	22	29	2.64	61	70	131	11.91	48	44	92	8.36	35	47	82	7.45
鳥取	88	89	177	35.40	25	22	47	9.40	33	20	53	10.60	19	30	49	9.80	19	27	46	9.20
島根	63	43	106	13.25	36	39	75	9.38	8	17	25	3.13	13	12	25	3.13	7	9	16	2.00
岡山	60	60	120	24.00	54	58	112	23.77	138	134	272	54.40	112	133	245	49.00	131	121	252	50.40
広島	101	104	205	11.23	94	103	197	9.38	99	100	199	14.25	104	117	221	11.36	89	115	204	10.74
山口	22	27	49	5.44	23	31	54	6.73	66	89	155	17.71	122	154	276	30.67	229	244	473	52.67
徳島	5	12	17	2.82	3	5	8	1.33	4	1	5	0.71	6	4	10	1.43	1	1	2	0.29
香川	11	13	24	4.80	4	6	10	2.00	11	12	23	4.60	0	5	5	1.00	0	0	0	0.00
愛媛	77	74	151	25.17	51	75	126	21.00	28	36	64	10.67	34	50	84	14.00	65	77	142	23.67
高知	102	96	198	24.75	55	68	123	15.38	70	47	117	14.63	75	87	162	18.00	28	62	90	12.86
福岡	77	58	135	9.00	34	47	81	5.40	19	24	43	2.87	49	45	94	6.27	33	33	66	4.40
佐賀	26	36	62	10.33	25	13	38	6.33	35	26	61	10.17	34	29	63	10.50	43	47	90	14.27
長崎	1	0	1	0.07	42	62	104	8.53	87	93	180	15.86	24	21	45	3.76	32	44	76	6.33
熊本	51	58	109	7.27	75	79	154	10.27	46	49	95	6.33	33	38	71	4.73	37	48	85	5.67
大分	40	52	92	9.20	16	23	39	3.66	19	14	33	3.00	13	9	22	2.00	5	12	17	1.54
宮崎	34	43	77	11.00	39	41	80	11.43	28	31	59	8.45	17	34	51	7.29	15	18	33	4.71
鹿児島	39	33	72	6.00	33	40	73	6.08	18	19	37	3.08	19	17	36	3.00	31	29	60	5.00
沖縄	27	20	47	6.71	29	40	69	9.86	21	23	44	6.29	9	8	17	2.43	36	33	69	9.86
全国	2024	2225	4249	9.11	1967	2301	4268	9.06	2688	2990	5678	12.23	2812	3154	5966	12.64	3119	3701	6820	14.50

表V-3-4 クラミジア肺炎 都道府県別性別報告数・定点あたり報告数

	2001年				2002年				2003年				2004年				2005年			
	男	女	総計	定点あたりの報告数	男	女	総計	定点あたりの報告数	男	女	総計	定点あたりの報告数	男	女	総計	定点あたりの報告数	男	女	総計	定点あたりの報告数
北海道	0	0	0	0.00	1	0	1	0.04	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
青森	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	1	0	1	0.17	1	1	2	0.33
岩手	0	1	1	0.05	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	1	0	1	0.05	1	2	3	0.15
宮城	38	10	48	3.99	24	10	34	2.86	28	11	39	3.25	20	9	29	2.42	0	0	0	0.00
秋田	2	0	2	0.26	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
山形	1	0	1	0.10	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	5	3	8	0.80	10	5	15	1.50
福島	1	0	1	0.14	1	0	1	0.14	0	0	0	0.00	28	20	48	6.82	54	39	93	13.29
茨城	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	2	1	3	0.27
栃木	8	1	9	1.29	1	0	1	0.14	1	3	4	0.57	9	5	14	2.00	7	4	11	1.57
群馬	0	1	1	0.10	0	0	0	0.00	1	2	3	0.30	0	2	2	0.20	2	3	5	0.50
埼玉	14	10	24	2.67	12	13	25	2.78	6	5	11	1.23	1	0	1	0.11	0	0	0	0.00
千葉	2	1	3	0.23	35	25	60	4.62	30	25	55	4.24	14	8	22	2.16	32	6	38	4.22
東京	0	0	0	0.00	0	2	2	0.08	3	0	3	0.12	2	2	4	0.16	4	5	9	0.36
神奈川	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	1	0	1	0.08	0	0	0	0.00	2	1	3	0.25
新潟	0	0	0	0.00	2	3	5	0.41	1	2	3	0.25	1	2	3	0.24	0			

表V-3-5 成人麻疹 都道府県別性別報告数・定点あたり報告数

	2001年				2002年				2003年				2004年				2005年			
	男	女	総計 (人)	定点あたりの報告数 (人/定点)	男	女	総計 (人)	定点あたりの報告数 (人/定点)	男	女	総計 (人)	定点あたりの報告数 (人/定点)	男	女	総計 (人)	定点あたりの報告数 (人/定点)	男	女	総計 (人)	定点あたりの報告数 (人/定点)
北海道	15	25	40	1.74	1	0	1	0.04	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
青森	1	1	2	0.33	3	6	9	1.57	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
岩手	4	6	10	0.50	1	1	2	0.05	1	3	4	0.20	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
宮城	2	7	9	0.75	1	2	3	0.25	10	14	24	2.00	0	1	1	0.05	0	0	0	0.00
秋田	1	1	2	0.26	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
山形	7	2	9	0.93	6	13	19	1.90	8	4	12	1.20	4	4	8	0.80	0	0	0	0.00
福島	1	5	6	0.86	0	5	5	0.71	18	18	36	5.14	4	5	9	1.28	0	0	0	0.00
茨城	1	1	2	0.18	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	1	1	0.09
栃木	2	4	6	0.86	0	1	1	0.14	2	2	4	0.57	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
群馬	3	1	4	0.40	5	3	8	0.80	7	4	11	1.10	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
埼玉	5	7	12	1.33	6	5	11	1.22	9	11	20	2.23	2	4	6	0.67	0	0	0	0.00
千葉	24	25	49	3.77	23	18	41	3.16	6	6	12	0.92	0	2	2	0.20	0	0	0	0.00
東京	85	96	181	7.27	54	62	116	4.64	82	62	144	5.76	10	6	16	0.64	0	1	1	0.04
神奈川	42	29	71	6.45	43	35	78	7.09	55	27	82	6.87	3	1	4	0.33	0	0	0	0.00
新潟	2	2	4	0.31	4	1	5	0.41	0	1	1	0.08	1	0	1	0.08	0	0	0	0.00
富山	2	2	4	0.80	4	7	11	2.20	1	0	1	0.20	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
石川	12	14	26	5.20	4	0	4	0.80	4	4	8	1.60	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
福井	1	1	2	0.35	1	0	1	0.17	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
山梨	3	2	5	0.50	0	0	0	0.00	0	2	2	0.20	0	0	0	0.00	1	0	1	0.10
長野	6	6	12	1.08	1	4	5	0.45	6	2	8	0.73	1	0	1	0.09	0	0	0	0.00
岐阜	0	1	1	0.25	1	7	8	2.00	0	3	3	0.61	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
静岡	2	3	5	0.63	12	14	26	2.66	5	11	16	1.60	0	1	1	0.10	0	0	0	0.00
愛知	9	18	27	2.08	11	11	22	1.69	2	3	5	0.39	0	0	0	0.00	0	1	1	0.08
三重	1	3	4	0.45	7	7	14	1.56	2	1	3	0.33	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
滋賀	0	2	2	0.29	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
京都	2	1	3	0.50	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
大阪	20	12	32	2.86	4	4	8	0.53	3	5	8	0.53	0	1	1	0.07	1	0	1	0.07
兵庫	15	10	25	1.79	1	5	6	0.46	0	0	0	0.00	2	4	6	0.48	0	0	0	0.00
奈良	1	0	1	0.17	0	0	0	0.00	1	0	1	0.17	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
和歌山	8	9	17	1.55	1	0	1	0.09	4	11	15	1.36	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
鳥取	2	2	4	0.80	1	0	1	0.20	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	1	0	1	0.09
島根	0	1	1	0.13	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
岡山	5	4	9	1.80	0	3	3	0.64	1	0	1	0.20	1	0	1	0.20	0	0	0	0.00
広島	3	6	9	0.49	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
山口	2	1	3	0.33	0	1	1	0.12	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
徳島	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	2	2	4	0.57	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
香川	1	0	1	0.20	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
愛媛	0	0	0	0.00	11	6	17	2.83	2	2	4	0.67	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
高知	48	31	79	9.88	1	0	1	0.13	5	3	8	1.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
福岡	46	33	79	5.27	3	2	5	0.33	3	4	7	0.47	2	0	2	0.13	0	1	1	0.07
佐賀	3	6	9	1.50	2	1	3	0.50	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
長崎	1	2	3	0.21	1	1	2	0.16	3	3	6	0.53	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
熊本	10	19	29	1.93	0	0	0	0.00	2	0	2	0.13	0	0	0	0.00	0	1	1	0.08
大分	18	13	31	3.10	1	0	1	0.09	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
宮崎	8	2	10	1.43	0	0	0	0.00	4	5	9	1.29	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
鹿児島	1	1	2	0.17	3	0	3	0.25	1	0	1	0.08	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
沖縄	42	43	85	12.14	0	0	0	0.00	2	1	3	0.43	1	0	1	0.14	0	0	0	0.00
全国	467	460	927	1.99	216	225	441	0.94	251	214	465	1.00	31	29	60	0.13	3	5	8	0.02

表V-3-6 MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) 感染症 都道府県別性別報告数・定点あたり報告数

	2001年				2002年				2003年				2004年				2005年			
	男	女	総計 (人)	定点あたりの報告数 (人/定点)	男	女	総計 (人)	定点あたりの報告数 (人/定点)	男	女	総計 (人)	定点あたりの報告数 (人/定点)	男	女	総計 (人)	定点あたりの報告数 (人/定点)	男	女	総計 (人)	定点あたりの報告数 (人/定点)
北海道	257	164	421	18.57	309	173	482	21.26	396	182	578	25.13	328	166	494	20.58	348	183	531	22.13
青森	112	31	143	23.83	70	23	93	15.50	41	14	55	9.17	56	25	81	13.50	47	21	68	11.33
岩手	389	197	586	29.30	522	270	792	39.60	764	386	1150	57.50	738	390	1128	56.40	637	366	1003	50.15
宮城	494	324	818	68.17	382	282	664	55.72	351	187	538	45.15	279	193	472	39.33	208	160	368	30.88
秋田	97	56	153	19.13	122	64	186	23.49	248	98	346	47.72	285	111	396	56.57	202	112	314	39.25
山形	269	176	445	46.03	365	178	543	54.30	345	193	538	53.80	326	178	504	50.40	318	166	484	48.40
福島	41	25	66	9.43	33	30	63	9.00	55	45	100	14.81	102	49	151	21.57	85	51	136	19.43
茨城	94	62	156	16.86	149	71	220	20.00	135	81	216	19.79	123	74	197	19.87	173	81	254	25.19
栃木	173	108	281	40.14	231	137	368	52.57	345	183	528	75.43	433	219	652	93.14	466	285	751	107.29
群馬	317	168	485	48.91	307	177	484	48.40	262	145	407	40.70	334	150	484	48.40	375	176	551	55.10
埼玉	227	122	349	38.78	147	96	243	27.00	233	143	376	42.97	191	101	292	32.44	166	107	273	30.33
千葉	255	174	429	47.67	347	191	538	60.34	338	152	490	54.44	267	154	421	46.78	325	178	503	55.89
東京	891	472	1363	68.44	1140	619	1759	83.10	1201	560	1761	70.68	1022	530	1552	62.29	1009	530	1539	61.56
神奈川	187	100	287	26.09	175	109	284	25.82	171	103	274	24.91	185	119	304	27.64	226	118	344	31.27
新潟	272	143	415	31.92	409	248	657	52.21	364	199	563	44.45	474	238	712	54.77	435	282	717	55.51
富山	209	126	335	67.00	287	175	462	92.40	297	188	485	97.00	281	203	484	96.80	263	186	449	89.80
石川	113	69	182	36.40	71	32	103	20.60	87	56	143	28.60	132	55	187	37.40	163	82	245	49.00
福井	209	119	328	54.67	207	101	308	51.33	182	115	297	43.46	163	83	246	36.90	194	115	309	54.53
山梨	127	61	188	18.80	107	61	168	16.80	135	89	224	22.40	175	89	264	26.40	176	95	271	27.10
長野	292	165	457	41.55	295	125	420	38.18	272	155	427	38.82	243	113	356	32.36	256	116	372	33.82
岐阜	143	84	227	45.40	123	83	206	41.20	100	77	177	35.40	81	75	156	31.20	161	98	259	51.80
静岡	333	217	550	55.00	339	208	547	54.70	388	232	620	62.00	395	263	658	66.35	386	254	640	64.00
愛知	357	206	563	44.74	472	243	715	55.00	554	246	800	60.00	587	335	922	70.92	648	348	996	76.62
三重	399	194	593	69.76	372	203	575	71.88	300	174	474	52.67	316	176	492	54.67	348	187	535	59.44
滋賀	234	133	367	52.43	237	179	416	69.33	2											

表V-3-7 PRSP (ペニシリン耐性肺炎球菌) 感染症 都道府県別性別報告数・定点あたり報告数

	2001年				2002年				2003年				2004年				2005年			
	男	女	総計	定点あたりの報告数	男	女	総計	定点あたりの報告数	男	女	総計	定点あたりの報告数	男	女	総計	定点あたりの報告数	男	女	総計	定点あたりの報告数
北海道	22	18	40	1.76	37	28	65	2.87	27	12	39	1.70	31	26	57	2.38	47	26	73	3.04
青森	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
岩手	27	10	37	1.85	157	111	268	13.40	137	84	221	11.05	124	76	200	10.00	42	15	57	2.85
宮城	179	129	308	25.67	136	100	236	19.80	206	112	318	26.69	126	99	225	18.75	71	53	124	10.41
秋田	68	51	119	14.88	55	42	97	12.25	42	38	80	11.03	53	32	85	12.14	45	24	69	8.63
山形	128	73	201	20.79	104	82	186	18.60	95	78	173	17.30	100	62	162	16.20	108	69	177	17.70
福島	0	0	0	0.00	9	4	13	1.86	31	28	59	8.74	32	24	56	8.00	32	12	44	6.29
茨城	0	0	0	0.00	5	3	8	0.73	4	1	5	0.46	11	6	17	1.71	8	6	14	1.39
栃木	21	12	33	4.71	16	12	28	4.00	28	10	38	5.43	33	20	53	7.57	20	16	36	5.14
群馬	67	48	115	11.60	47	28	75	7.50	42	34	76	7.60	56	49	105	10.50	84	63	147	14.70
埼玉	27	9	36	4.00	30	20	50	5.56	49	24	73	8.34	17	11	28	3.11	61	59	120	13.33
千葉	451	338	789	87.67	398	356	754	84.56	442	344	786	87.33	653	471	1124	124.89	676	469	1145	127.22
東京	202	152	354	17.77	333	224	557	26.31	366	251	617	24.76	277	167	444	17.82	306	228	534	21.36
神奈川	81	65	146	13.27	147	119	266	24.18	181	161	342	31.09	174	174	348	31.64	142	95	237	21.55
新潟	72	54	126	9.69	141	89	230	18.28	94	96	190	15.00	108	63	171	13.15	95	52	147	11.38
富山	97	86	183	36.60	155	88	243	48.60	202	155	357	71.40	249	181	430	86.00	248	182	430	86.00
石川	19	22	41	8.20	26	15	41	8.20	26	28	54	10.80	19	13	32	6.40	5	6	11	2.20
福井	65	46	111	18.50	68	50	118	19.67	62	48	110	16.10	93	78	171	25.65	72	39	111	19.59
山梨	129	75	204	20.40	106	60	166	16.60	112	65	177	17.70	86	54	140	14.00	49	43	92	9.20
長野	73	40	113	10.27	63	21	84	7.64	39	22	61	5.55	44	14	58	5.27	53	22	75	6.82
岐阜	13	10	23	4.60	7	4	11	2.20	2	2	4	0.80	1	3	4	0.80	18	11	29	5.80
静岡	89	47	136	13.60	91	57	148	14.80	162	116	278	27.80	90	88	178	17.95	111	86	197	19.70
愛知	5	2	7	0.56	3	1	4	0.31	2	3	5	0.38	7	0	7	0.54	1	1	2	0.15
三重	10	6	16	1.88	11	5	16	2.00	2	2	4	0.44	2	1	3	0.33	3	1	4	0.44
滋賀	4	4	8	1.14	2	2	4	0.67	1	0	1	0.14	2	3	5	0.71	5	5	10	1.43
京都	0	0	0	0.00	1	0	1	0.14	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	1	0	1	0.14
大阪	80	56	136	15.84	178	132	310	22.41	93	55	148	10.57	35	22	57	4.07	51	36	87	6.21
兵庫	169	144	313	22.90	125	92	217	15.59	67	37	104	7.90	53	17	70	5.00	58	33	91	7.00
奈良	99	26	125	21.13	74	60	134	22.65	47	35	82	14.06	49	28	77	12.83	56	27	83	13.83
和歌山	15	21	36	3.57	17	17	34	3.09	37	37	74	6.73	36	19	55	5.04	30	21	51	4.64
鳥取	12	14	26	5.20	5	1	6	1.20	10	3	13	2.60	13	12	25	5.00	14	11	25	5.00
島根	73	46	119	14.88	130	93	223	27.88	126	118	244	31.15	123	93	216	27.00	103	69	172	21.50
岡山	2	3	5	1.13	10	3	13	3.12	9	1	10	2.11	8	9	17	3.40	10	9	19	3.80
広島	297	228	525	28.38	351	277	628	29.90	310	260	570	27.80	359	310	669	32.37	301	244	545	25.95
山口	68	42	110	15.17	108	77	185	24.40	161	107	268	31.53	167	134	301	34.73	113	90	203	22.56
徳島	0	5	5	0.71	9	1	10	1.45	1	0	1	0.14	0	0	0	0.00	0	1	1	0.14
香川	20	14	34	6.80	23	48	71	14.20	34	24	58	11.60	31	24	55	13.75	48	19	67	16.75
愛媛	9	3	12	2.00	2	11	13	2.20	5	7	12	2.00	4	3	7	1.17	4	3	7	1.33
高知	123	78	201	25.13	91	67	158	19.75	147	122	269	35.09	191	134	325	40.63	182	123	305	43.57
福岡	21	21	42	2.51	32	30	62	3.88	29	29	58	3.63	93	57	150	9.84	63	33	96	6.00
佐賀	12	13	25	4.17	28	13	41	6.83	53	43	96	16.00	74	51	125	20.83	62	45	107	17.83
長崎	0	0	0	0.00	5	4	9	0.80	6	3	9	0.87	7	2	9	0.75	5	7	12	1.00
熊本	33	20	53	3.53	35	20	55	3.67	21	20	41	2.73	38	24	62	4.13	37	25	62	4.13
大分	50	40	90	9.00	92	78	170	17.00	98	82	180	18.00	142	81	223	22.30	94	76	170	17.00
宮崎	12	7	19	2.71	11	13	24	3.43	24	14	38	5.43	36	31	67	9.57	47	43	90	12.86
鹿児島	4	1	5	0.42	6	6	12	1.00	14	15	29	2.42	17	12	29	2.45	20	22	42	3.50
沖縄	95	80	175	25.00	17	10	27	3.86	14	14	28	4.00	29	29	58	8.29	59	36	95	13.57
全国	3043	2159	5202	11.53	3497	2574	6071	13.12	3660	2740	6400	13.71	3893	2807	6700	14.26	3660	2557	6217	13.24

表V-3-8 薬剤耐性緑膿菌感染症 都道府県別性別報告数・定点あたり報告数

	2001年				2002年				2003年				2004年				2005年			
	男	女	総計	定点あたりの報告数	男	女	総計	定点あたりの報告数	男	女	総計	定点あたりの報告数	男	女	総計	定点あたりの報告数	男	女	総計	定点あたりの報告数
北海道	10	6	16	0.71	27	3	30	1.32	26	6	32	1.39	9	5	14	0.58	16	6	22	0.92
青森	1	0	1	0.17	0	0	0	0.00	1	0	1	0.17	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00
岩手	33	21	54	2.70	34	32	66	3.30	114	45	159	7.95	70	36	106	5.30	55	34	89	4.45
宮城	18	15	33	2.75	15	17	32	2.69	26	14	40	3.36	31	14	45	3.75	14	5	19	1.59
秋田	0	0	0	0.00	4	2	6	0.76	1	0	1	0.14	3	0	3	0.43	8	3	11	1.38
山形	5	1	6	0.62	6	4	10	1.00	3	3	6	0.60	5	6	11	1.10	1	2	3	0.30
福島	0	0	0	0.00	0	0	0	0.00	1	0	1	0.15	2	1	3	0.43	5	2	7	1.00
茨城	13	5	18	1.95	6	3	9	0.82	2	3	5	0.46	2	6	8	0.81	3	8	11	1.09
栃木	2	3	5	0.71	10	9	19	1.43	1	0	1	0.14	0	2	2	0.29	0	0	0	0.00
群馬	5	1	6	0.61	17	9	26	2.60	8	4	12	1.20	21	9	30	3.00	15	17	32	3.20
埼玉	11	8	19	2.11	11	5	16	1.78	23	9	32	3.66	14	5	19	2.11	16	5	21	2.33
千葉	3	2	5	0.56	8	3	11	1.23	7	5	12	1.33	8	1	9	1.00	11	5	16	1.78
東京	52	17	69	3.46	81	26	107	5.06	53	8	61	2.45	26	13	39	1.57	25	10	35	1.40
神奈川	2	0	2	0.18	4	1	5	0.45	0	0	0	0.00	0	1	1	0.09	6	3	9	0.82
新潟	0	0	0	0.00	1	0	1	0.08	0	0	0	0.00	8	5	13	1.00	9			

V-4. 基幹定点からの患者情報の年齢分布の検討

1) 検討方法

検討資料はV-2と同様である。

疾患別に全国基幹定点からの報告患者の年齢分布を観察する。具体的には年齢階級別報告数・定点あたり報告数を年次別に示し、疾患別年齢分布を検討した。

2) 検討結果

表V-4-1に細菌性髄膜炎、表V-4-2に無菌性髄膜炎、表V-4-3にマイコプラズマ肺炎、表V-4-4にクラミジア肺炎、表V-4-5に成人麻疹、表V-4-6にMRSA感染症、表V-4-7にPRSP感染症、表V-4-8に薬剤耐性緑膿菌感染症の年齢階級別報告数・定点あたり報告数を示す。

細菌性髄膜炎は各年0～4歳が報告患者の約5割を占めていた。年齢階級別定点あたり報告数には大きな年次変化はなかった。無菌性髄膜炎は各年報告患者の約8割は15歳未満の小児であり、特に10歳未満が多かった。年齢階級別定点あたり報告数の年次変化は、ほとんどの年齢階級で全国同様(2002年が最多、次いで2003年の順)であった。マイコプラズマ肺炎は各年報告患者の8～9割は15歳未満の小児であった。0～4歳では定点あたり報告数が年を追う毎に増加していた。クラミジア肺炎の定点あたり報告数は2001年には5～9歳(報告患者の39.0%)と70歳代(報告患者の33.5%)を中心とする2峰性分布であった。しかし2002年以降は70歳以上で報告患者が倍増し、70歳以上の山が大きくなった。2005年には、15歳未満は報告患者の16.8%、70歳以上は47%を占めていた。成人麻疹の定点あたり報告数は各年20歳代で最も多く、各年20～30歳代で報告患者の7割を占めていた。この年齢の定点あたり報告数は全国流行年の2001年で最も高かったが、2004年以降は激減していた。

MRSA感染症の定点あたり報告数は0～4歳と70歳代を中心とした2峰性分布を示すが、山は70歳代で大きかった。定点あたり報告数は0～4歳では近年減少していたが、70歳以上では年を追う毎に増加し、2005年には70歳以上が報告患者の6割以上を占めていた。PRSP感染症の定点あたり報告数は0～4歳で最も多く、各年報告患者の約6割を占めていた。定点あたり報告数は0～4歳では2001年から2004年にかけて年を追う毎に増加していた。薬剤耐性緑膿菌感染症の定点あたり報告数の年齢分布はMRSA感染症に似ており、各年70歳以上が報告患者の5～6割を占めていた。定点あたり報告数は80歳以上では年を追う毎に増加していた。

3) 基幹定点からの患者情報の年齢分布のまとめ

基幹定点からの報告患者の年齢分布は疾患によって異なっていた。またクラミジア肺炎、MRSA感染症などでは年齢によって定点あたり報告数の年次推移が異なっていた。

基幹定点からの患者情報は疾患別年齢分布の把握に役立つ。定点あたり報告数の増減は罹患者数の増減を示唆すると考えられ、年齢別の時間的流行状況(経年変化)の把握にも役立つ。